

令和6年度 事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

軽費老人ホーム
ケアハウスだいろ

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本137-1

TEL 0256-82-0855

FAX 0256-82-0866

令和6年度ケアハウスだいろ 事業報告

〈目 次〉

	ページ
職員業務分担表	1
1 基本方針	2
2 事業方針	2
3 職員体制	2
入居者の動向（年齢他）	3
〃（入居期間他）	4
〃（介護保険認定推移他）	5
〃（稼働率他）	6
〃（運営懇談会）	8
4 入居サービス・生活指導	9
5 保健衛生・健康管理	9
6 食事	10
7 行事・地域交流・サークル活動	11
8 防災	13
9 環境整備	13
10 連絡調整	14
11 定期活動報告	15
12 事故報告、苦情・要望、ヒヤリハット	16
13 補助金・助成金 事業報告	17
次年度に向けて	17

職員業務分担表

	職種	分担業務の内容
職員 の 状 況	事務全般	施設長 大越 芳博
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営管理記録全般の総括 ・職員 of 指揮監督 ・職員 of 人事管理に関する事項 ・事業計画 of 実施と予算 of 計画執行に関する事項 ・金銭 of 出納管理に関する事項 ・関係市町村、各機関 of 連絡調整に関する事項 ・関係機関、団体、地域社会 of 連絡調整に関する事項
	生活相談	生活相談員（社会福祉主事） 石塚 智恵子
		<ul style="list-style-type: none"> ・入退去事務に関する事項 ・入居者の生活相談、指導に関する事項 ・入居者の処遇全般に関する事項 ・入居者、家族 of 相談に関する事項 ・運営懇談会 of 開催に関する事項
	生活・介護全般	介護職員 大澤 弘美（主任）・小酒井 晴那 （介護福祉士） （介護福祉士）
		<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の生活全般にわたる相談及び支援に関する事項 ・各種行事、レクリエーション、サークル活動に関する事項 ・職員 of 勤務割に関する事項 ・ボランティアに関する事項 ・給食会議 of 開催に関する事項
	給食	委託業者 石本商事(株)
		<ul style="list-style-type: none"> ・食事 of 提供に関する事項 ・厨房内 of 衛生的な保全、管理に関する事項

1 基本方針

(1) 施設の目的

軽費老人ホーム ケアハウスだいろは、居宅において生活することが困難な高齢者を低額な料金で入居することを可能とし、生活上必要な便宜を提供し、高齢者が健康で明るい生活を送れるように支援することを目的とする。

(2) 施設の方針

「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。また老人は、老齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して、常に心身の健康の保持に努める」という老人福祉法の基本理念に基づき、高齢者の特性に配慮し、安全で住みよい生活の場を確保し、入居者の自主性を尊重することに配慮する。

現在あるいは将来にわたり、生きがいをもって楽しい日々を過ごせるよう食事の提供、入浴の準備、生活援助、助言の機能充実、余暇活動の援助、在宅福祉サービスの対応、疾病や非常災害等のサービスに万全を期することを基本方針とする。

2 事業方針

入居者と職員の信頼関係に基づいた家庭的な雰囲気の中で、将来の生活との継続性を失うことなく、在宅福祉サービス等を活用しながら入居者の能力を生かし、健康で潤いのある自立した、心穏やかな日々を支援する

- (1) 「やすらぎ」と「生きがい」のもてる生活支援
- (2) 安全で住みよい生活の場と環境づくり
- (3) きめ細かなサービス提供と自立生活の推進
- (4) 地域交流と開かれた施設の推進
- (5) 円滑な苦情処理体制の確立

3 職員体制

(1) 人員配置 (令和7年3月31日)

施設長 (管理者)	1
生活相談員 (社会福祉主事)	1
介護職員 (介護福祉士)	2
宿直者	3

入居者の動向

令和7年3月31日

1 男女人数内訳

男性	女性	合計
14	20	34

2 年齢別状況

年齢	男性	女性	計
60-64	1		1
65-69	1	2	3
70-74	4	1	5
75-79	2	2	4
80-84		4	4
85-89	5	6	11
90-94		4	4
95歳以上	1	1	2
計	14	20	34

	男性	女性
最少年齢	64歳	68歳
平均年齢	78歳3ヶ月	83歳9ヶ月
	83歳9ヶ月	
最高年齢	95歳	98歳

3 日常基本動作状況

身の回り、動作、移動

自立	支えが必要
13	21

補助具利用者内訳

杖	シルバーカー	歩行器
5	2	14

日常介護(在宅福祉サービス利用)

清掃介護	入浴介助・見守り
7	10

4 介護サービス利用区分状況

	男性	女性	計
要支援1	3	3	6
要支援2	3	2	5
要介護1	4	7	11
要介護2	1	4	5
要介護3	1		1
要介護4			
要介護5			
計	12	16	28

5 入居期間

入居年度	男性	女性	計
平成 24 年度	1		1
平成 25 年度	1		1
平成 26 年度	1	2	3
平成 27 年度		1	1
平成 29 年度		3	3
平成 30 年度	1		1
令和元年度	1		1
令和 2 年度	1	3	4
令和 3 年度	2	1	3
令和 4 年度	2	6	8
令和 5 年度	1	1	2
令和 6 年度	3	3	6
計	14	20	34

6 退去動向

理由	人数
入院加療	3
施設入所	4
死亡(入院中)	
自宅復帰	
計	7

7 入居者収入階層状況

階層	区分(円)	人数
1	1,500,000 以下	19
2	1,600,000 まで	4
3	1,700,000 まで	2
4	1,800,000 まで	3
5	1,900,000 まで	1
6	2,000,000 まで	2
7	2,100,000 まで	
8	2,200,000 まで	
9	2,300,000 まで	2
10	2,400,000 まで	
11	2,500,000 まで	1
12	2,600,000 まで	
13	2,700,000 まで	
14	2,800,000 まで	
15	2,800,000 以上	
計		34

8 介護保険認定者推移(各年度 3月)

年度	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4
平成 20 年度	15	15		4	1		
平成 21 年度	12	5	10	5	3		
平成 22 年度	11	8	8	7	1		
平成 23 年度	11	1	12	7	3	1	
平成 24 年度	10	6	9	7	3	1	
平成 25 年度	12	7	8	6	2		
平成 26 年度	17	3	5	5	2	1	
平成 27 年度	17	2	8	4	2		
平成 28 年度	14	3	10	2	5		
平成 29 年度	17	4	5	6	2		
平成 30 年度	14	3	11	4	2		
令和元年度	12	4	8	4	4		
令和 2 年度	14	5	7	7	1	1	
令和 3 年度	17	6	5	5	1		
令和 4 年度	9	6	6	10	3		1
令和 5 年度	7	9	5	10	3		
令和 6 年度	7	6	5	11	5	1	

外部サービス

(延回数)

サービス種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R4	R5
デイサービス	34	39	30	42	42	39	29	25	37	28	29	24	398	436	426
通所リハビリ	58	62	47	66	55	52	51	45	47	39	38	45	605	565	645
ヘルパーサービス	232	226	159	264	228	218	171	185	268	282	254	298	2785	1359	1652
訪問看護	38	42	32	37	42	38	41	39	55	55	46	51	516	305	460
訪問リハ・歯科	2	1		1	2	2	1			1	2	3	15	94	64
就労支援	42	44	33	43	42	39	43	40	41	39	36	41	483	635	506
計	406	414	301	453	411	388	336	334	448	444	405	462	4802	3212	3394
令和 4 年度	282	300	315	286	286	296	305	294	239	272	243	276	3394		
令和 5 年度	261	239	313	334	309	300	330	340	331	343	323	330	3753		

稼働率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用人数	1050	1085	1038	1085	1085	1050	1085	1049	1046	1025	913	1034	12545
稼働率	100	100	98.8	100	100	100	100	99.9	96.4	94.4	93.1	95.3	98.2

通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R4	R5
岩室リハ病院	29	44	22	25	29	30	21	43	47	22	26	23	361	339	369
外部医療機関	19	11	12	21	14	13	17	7	16	17	11	15	173	210	252
計	48	55	34	46	43	43	38	50	63	39	37	38	534	549	621

入院状況

(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R4	R5
人数	1	3	2	1	2	3	4	4	2	4	5	3	34	31	10
日数	2	18	23	15	42	58	106	61	16	68	86	45	540	690	209

外泊人数

単位 人

日数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1～4日													3	3
5～9日														
10～14日														
15～19日														
20日以上														

※2月より再開する

会 議

- | | | | |
|--------------|----|-------|---------|
| ・だいろ運営懇談会 | 隔月 | 第1火曜日 | 14時～ |
| ・給食定例会議 | 毎月 | 第3木曜日 | 15時30分～ |
| ・職員会議 | 毎週 | 1回 | 15時30分～ |
| ・すこやか福祉会定例会議 | 毎月 | 1回 | 16時40分～ |

入居サービス等基本事項及び運営懇談会の意見・要望を反映した提案事項を協議・検討した。

－ 入居サービス等基本事項 －

- ① 入居サービス・生活指導
- ② 保健衛生・健康管理
- ③ 食 事
- ④ 行事・地域交流・サークル活動
- ⑤ 防 災
- ⑥ 環境整備
- ⑦ 身元保証人との連絡調整

○ 職員の基本姿勢

社会福祉に携わる職員として、自らの行動に責任と自覚を持ち、目配り、気配り、心配りの姿勢で入居者一人ひとりの人格を尊重し、公平な心で入居者との信頼関係を構築し、穏やかな生活を送れるように支援に努めた。

○ 職員研修

今年度は退職者がおり、体制が取れない為、外部研修に不参加、内部研修の充実を図り、入居者により自立した生活を送れるように努めた。

① 施設外研修(今年度は中止)

日時	研修・会議内容	場所	出席者

②施設内研修

日時	研修・会議内容	参加人数
4月19日	虐待研修(無意識のうちの虐待)	3名
6月6日	転倒防止研修(高齢者の転倒要因)	3名
11月28日	転倒防止研修(高齢者の転倒原因)	3名
2月14日	転倒防止研修(高齢者の転倒予防)	3名
3月26日	感染症研修(基礎知識)	3名

運営懇談会の開催内容 ★偶数月 第一 火曜日 午後2時より開催

	開催日時	参加者	内容
1	4月2日	入居者 26名 ・ 職員 4名	1、エアコンについて
		外出者 内訳	2、3階入浴設備について
		デイ利用 2名	3、利用料について
		作業所 1名、不参加 6名	4、床暖房について
			5、食事アンケートについて
2	6月4日	入居者 25名 ・ 職員 4名	1、空調工事について
		外出者 内訳	2、居室窓清掃について
		通所リハ 1名、デイ利用 2名	3、面会について
		作業所 1名、不参加 5名	4、2階・3階脱衣室エアコン工事について
		入院 1名	
3	8月6日	入居者 27名 ・ 職員 4名	1、3階浴槽ろ過機入替工事について
		外出者 内訳	2、エアコンについて
		作業所 1名、不参加 6名	3、医療保険証等について
		入院 1名	4、収入申告について
4	10月1日	入居者 25名 ・ 職員 4名	1、コインランドリーについて
		外出者 内訳	2、正面玄関開錠時間について
		デイ利用 1名	3、行事食材費について
		作業所 1名	4、収入申告について
		入院 3名、不参加 6名	5、床暖房について

5	12月3日	入居者 25名・職員 4名	1、避難訓練について
		外出者 内訳	2、年賀状について
		デイ利用 1名	3、意見箱について
		作業所 1名、	
		入院 2名、不参加 5名	
6	2月4日	入居者 27名・職員 4名	1、給食委託について
		外出者 内訳	2、宿直職員について
		デイ利用 1名	3、食席について
		作業所 1名、	4、外泊について
		入院 4名、不参加 2名	

4 入居サービス・生活指導

- 入居サービスについては、従来の生活状況および心身の健康状態を把握し入居者個々の残存機能を最大限に生かし、生活の質を高水準に維持できるよう相談・援助を行った。問題等ある場合の対応については、施設内での近況や生活状況を身元保証人に報告し、理解と協力を得た上で、慎重かつ適切な対応を行った。
- 入浴は、毎週4回[月・水・木・土]13時30分から18時00分までを利用可能とした。また、健康に関心のある入居者が多いことから「お楽しみ風呂」(5/2 菖蒲湯・12/26 ゆず湯)で気分転換を図った。
 - シャワー浴は、入浴日以外の時間内に使用できるように準備した。
 - 生活指導・相談については、気軽にいつでも相談できるよう優しく、適切に入居者の立場に立って対応した。
 - 生活相談員を中心に、入居者の状況把握、ニーズの把握とした定期面接等を行い、全入居者に暮らしやすいようにサービス提供を行った。

5 保健衛生・健康管理

日常生活における入居者個々の健康状態を把握して、心身の健康管理と合併症および疾病の予防に努めた。

- **定期健康診断** (8月6日(火)午後1時30分～3時実施)
全入居者を対象に身体計測・血圧・採血・採尿・心電図・胸部レントゲン等を実施し、診断結果について主治医および協力病院との連携に努めた。
- **健康教室** ※コロナウィルスの為、今年度は中止
年6回(保健師、理学・作業療法士、薬剤師、管理栄養士、地域包括支援センター等講師)をお招きし、専門家の立場で入居者の健康維持、介護保険等の疑問についてわかりやすく説明いただく機会を提供した。

- 「けんこつ体操」・「ココから体操」（毎週木曜日・午後2時より約30分間実施）
地域交流スペースの活用により、地域開放とし一般住民にも広く体操に参加していただき、地域間交流と入居者の身体活動量の維持、向上と社会的・心理的な老化防止に努めた。

6 食 事

食事は健康の源であり、一日の生活の中で入浴と並び大きな楽しみの1つになっている。しかし、加齢に伴い様々な変化が生じるため、バランスのとれた栄養供給と日々楽しく食事ができるように工夫を凝らした献立づくりを心がけた。

- 給食会議（毎月第3木曜日・午後3時30分より）
給食委託業者と業務の円滑化を目的として、日々の食事、行事食、選択献立（週1回）、郷土料理、バイキング献立等について入居者からの意見・要望を協議し、食事を楽しむ取り組みに努めた。
- 嗜好調査（12月1日から15日実施）
聞き取り形式で実施する嗜好調査結果に基づき、個別対応を基本とする食事の提供を心がけた。
- 食事環境の整備
食堂内の雰囲気四季折々変化を持たせ、よりよい食環境で食事を楽しんでいただけるように努めた。

—だいろの給食目標—

- 生活の質「QOL」の向上
- 薄味に慣れ、生活習慣病の予防
- 毎日の食事から望ましい食生活を学ぶ
- 小さな施設ならではの手作りで家庭的な食事を目指す

〈活動報告〉

行 事		行事食	メニュー
4月	創立記念日 観桜会	赤飯 1日 花見弁当 9日	ナポリタン、山菜そば、ビビンバ井 ピザトースト、鮭のホイル焼、いなり寿司 おにぎり盛り合わせ、海鮮中華丼
5月	誕生会	刺身盛り合わせ 5日	サンドパン、とんこつラーメン、親子井 肉そば、にゅうめん、天ぷら盛り合わせ

6月			竹の子ごはん、焼きそば、冷やし中華、いなり寿司、五目チャーハン、ナポリタン
7月	誕生会	うなちらし 24日	親子丼、かき揚げ丼、梅じゃこご飯、冷やし中華、冷麦、五目おこわ
8月		松花堂弁当 27日	麦飯、いなり寿司、そうめん 冷やし中華、冷麦、豚丼、焼きそば
9月	誕生会 長寿を祝う会	お刺身盛り合わせ17日	醤油おこわ、冷やし中華、親子丼、五目御飯 冷やし山菜おろしそば、オムライス、
10月		おにぎり盛合せ 8日	手作りメンチカツ、卵とじにゅうめん 醤油ラーメン、きのこのチキンピラフ
11月	誕生会	お刺身盛り合わせ20日	天ぷら盛り合わせ、肉そば、ぶり大根 海鮮丼、さつま芋おこわ、きのこ雑炊
12月	クリスマス会	お刺身盛り合わせ31日	五目チャーハン、三色丼、とり雑炊 親子丼、醤油ラーメン、年越しそば
1月	元旦 誕生会	おせち弁当 1日 刺身盛り合わせ 28日	年明けうどん、七草粥、きのこ雑炊、赤飯、 海鮮ちらしずし、野菜味噌ラーメン
2月	節分会	ミックスフライ 3日	とり雑炊、ヒレカツ、もやし味噌ラーメン、 焼きそば、豚丼、大豆おこわ
3月	誕生会	生寿司 25日	かき揚げ丼、ハヤシライス、五目そば、 鶏雑炊、ちらし寿司、海鮮丼、肉うどん

7 行事・地域交流・サークル活動

- 行事は、「親睦と親善」を目的とし入居者の意向を尊重し、自由に参加できるよう企画し、生活が単調にならずバラエティに富み季節を感じ、楽しい時間を共有できるように支援した。
- 地域交流行事は、隣接保育園、慰問ボランティア、地域住民を積極的に行事等へ受入れることで子供たちとの交流、地域社会との交流で多くの人と接する機会を設けるように支援した。(※今年度は中止)
- サークル活動は、共通の趣味や興味を通じて余暇の充実、生きがいを見出し仲間作りや日常生活の活性化と心身機能の低下防止に役立つことを目的とし自主性を重んじ、主体的に活動できるよう協力・支援した。

1 サークル活動一覧表

活動時間：午前10時～午後3時

サークル名	活動日	指導者名	活動回数	延参加人数
ビデオ上映会	不定期		1	8
カラオケサークル	第4週月、午後1時～		4	11
作りましようの会	隔月	職員	10	95
お楽しみ会	月数回	職員	5	83
けんこつ体操	毎週木曜日午後2時～		42	416

※ボランティアを受け入れず、職員が中心として行うレクリエーションを増やしました。

2 外出支援一覧表

外出時間：午後1時半から午後3時半	回数	行き先	参加人数
買い物ツアー（今年度中止）		吉田・巻	
桜・花見ツアー	1	岩室	5
秋バスハイキング（今年度中止）			
日帰りグルメツアー（今年度中止）		間瀬 海華亭かわい	

3 その他

- ・健康教室（管理栄養士・理学療法士・区役所保健師・薬剤師・社会福祉士他）

今年度は開催せず

- ・慰問ボランティア（ハワイアンダンス・民謡会・マンドリン・お茶会・いきいき体操他）

今年度は受け入れせず

- ・移動スーパー〔野菜、果物（毎週月曜日）・果物、野菜、日用雑貨（毎週水曜日・金曜日）〕 週3回

延151回数

- ・移動美容室（NPO 全国移動福祉理美容者協議会）

月1回 延利用者80人

- ・保育園交流会 岩室保育園

今年度は中止

（保育園を訪問または、園児来訪で楽しいひと時を過ごす）

サークル活動は、共通の趣味を通じて、余暇の充実、生きがいを見出し仲間作り、日常生活の活性化と心身機能の低下防止に役立つことを目的とし、自発的に行えるよう協力・支援した。

8 防 災

防災計画に基づき、近隣施設の協力と消防機関の指導の下、消火・通報及び避難誘導訓練を年2回実施し入居者、職員の防災に関する意識の高揚に努めた。

また、入居者が高齢のため非常の際に、迅速な避難は困難なことから日常生活において火気の取り扱いについて指導を行い防災の普及に努めた。

- 防火管理者及び防火責任者は、徹底した自主点検を実施するとともに震災その他の災害における設備・備品等の倒壊・落下・転倒防止の措置を講じた。
- 生活相談員は、居室訪問時に安全点検・落下物・転倒防止の指導を行った。

【防災訓練活動報告】

	訓練内容	備 考
5月	総合避難訓練 23日 参加者 18名 消火、通報、伝達、避難誘導 散水栓使用訓練	・消防用設備等法令点検（委託業者） ・入居者、職員の防災教育及び避難誘導訓練
11月	夜間想定避難訓練 26日 参加者 22名 宿直者を中心とした、消火、 通報、伝達、避難誘導訓練	・消防用設備等法令点検（委託業者） ・入居者、職員の防災教育及び避難誘導訓練

その他

- ※日常重点日を定め（1，7，14，21，28日）防火対象物の自主点検実施
（避難通路、吸殻処理、空室、物品庫の施錠確認、終業時の火気確認等）

9 環 境 整 備

- 施設内外は常に整理整頓・美化に努め、定期的な清掃を実施し快適な生活環境作りに努めた。
- 施設・設備についても常に良好な状態にあるように専門業者による保守点検を実施し、職員は取扱方法を熟知した。
- 施設集団感染予防のため、毎週水曜日に施設内すべての手すり等を消毒した。

〈環境・整備活動報告〉

★業者委託項目

月	業務内容	月	業務内容
4	加湿器撤去（食堂内） 1日 ★草取り、芝刈り、除草剤散布 7日・8日	10	★草取り、芝刈り、剪定 11日 ★カーペット清掃 18日 床暖房開始（AM5～PM8） 24日
5	★窓ガラス清掃 13日・14日 ★庭木剪定 27日	11	加湿器設置（食堂内） 1日
6	★換気扇・エアコンフィルター清掃及び 網戸・照明器具清掃 27日・28日 ★衛生害虫定期駆除、消毒 10日	12	年末清掃週間 5日～19日 ★衛生害虫定期駆除、消毒 19日
7	室温調整	1	室温・換気調整
8	室温調整 夏の大清掃週間 1日～10日	2	室温・換気調整 ★庭木剪定 17日
9	★浴槽定期水質検査 25日 ★電話器保守点検 19日	3	★床ワックス清掃 19日 ★浴室薬品配管洗浄 27日

施設整備・備品の整備及び修繕事項

7月 空調入替工事（食堂・廊下） 階段窓雨漏り修繕工事	10月 2階浴室ろ過機入替工事 ※(赤い羽根共同募金補助事業)
8月 エアコン入替工事（居室2か所）	12月 ウォシュレット入替工事
9月 3階浴室換気扇入替工事	1月 地下タンク検知口補修工事

10 連絡調整

- 入居者の生活状況・家庭状況及び心身の健康状態を把握し、援助及び介護が必要になった場合、保証人との連携を深め、施設運営への協力を要請した。
- 常に市町村・介護保険サービス事業者と十分な連携をとり、在宅福祉サービスが迅速に受けられるように連絡調整に努めた。

空室等相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本人・家族	1	3	4	2	2	5	6	3		3	1	5	35
病院				1	1					2	1		5
包括支援センター	2	2	1	1		2		1		1	2	1	13
居宅介護事業所						1							1
老人保健施設						1	1		1				3
合計	3	5	5	4	3	9	7	4	1	6	4	6	57

1 1 定期活動報告

◎健康教室（体操）

- ①けんこつ体操（筋、脳刺激体操）
- ②ココから体操（有酸素運動）
- ③その他

【頭の体操、ストレッチ、バランス体操を組み合わせた体操】

【日時】 毎週木曜日 14時～14時30分

【場所】 地域交流スペース

【講師】 職員

◎移動スーパー : 生鮮食料品・日用雑貨等の移動販売

【利用日】 ①月曜日 11時～

生鮮野菜、果物類

②水曜日 13時～

果物、野菜、お菓子類、日用雑貨全般

③金曜日 15時～

果物、野菜、お菓子類、日用雑貨全般

【利用場所】 玄関前、玄関ロビー

◎移動図書 : 在宅図書サービス利用 (岩室図書館)

【利用日】 第2、4金曜日 15時20分～

【利用場所】 地域交流スペース

◎移動美容室 : 移動福祉美容室 (特定非営利活動法人) 来訪

【利用日】 月1回 9時30分～

【利用場所】 1階廊下

12 事故報告、苦情、要望、ヒヤリハット

1、事故報告集計

発生件数 1件

4月2日 90歳 女性 要介護1 午前8時食堂に来られないので、伺うと本人より、居室にて転倒、家族と受診すると右手首骨折と診断 (新潟市には報告済)

2、苦情・要望

苦情 2件 要望 0件

	内容	件数
6月	職員の入居者対応	1件
10月	宿直職員の入居者対応	1件
計		2件 解決済

・本人、家族に謝罪し、入居者に対しての接し方を再度、指導する。

3、ヒヤリハットレポート集計

発生件数 25件

〈発生場所〉

場所	居室	浴室	食堂	玄関	その他
件数	8	2	1	1	13

〈形態〉

形態	転倒	風呂	その他
件数	14	1	10

〈要因〉

要因	確認不足	利用者不注意	利用者理解不足
件数	5	18	2

・特定の入居者が居室内転倒、身体機能低下によるものが多く、ケアマネと家族と相談しながら、早めにサービス変更を行う。

1 3 補助金・助成金等 事業報告

■ 新潟市 新潟市軽費老人ホーム事務補助金	26,619,000 円
■ 新潟県共同募金会 社会福祉施設整備助成金 (2階浴槽系統ろ過機更新)	2,000,000 円

事業活動反省及び次年度に向けて

1 行事全般について

今年度もボランティア受入れ中止にし、職員中心の行事を行いました。職員の体制が取れた為、行事の回数も例年とおりに戻る。

2 生活全般について

けんこつ体操は、女性の参加者が多く、毎回12名程になりました。

欠かさず参加される方は、体力・筋力の低下を認めないが、不参加の方の筋力低下が認められる。

3 サークル活動について

ボランティアを受け入れず、職員と一緒にいき、園芸クラブ、今年よりカラオケサークル行き、入居者と一緒に季節のごとに花を植え楽しんでもらいました。

4 その他

今年度は、昨年より退去する方が多く、長期入院から他施設へ移りました。

介護職員の退職に伴い、10月に介護職員補充ができたが、数か月間、行事の回数を少なく対応する。宿直職員も退職し、3月からは2人から3人体制に変更する。

入居者に従来とおりのサービス提供できない月がありました。

来年度は、入居者を楽しく安心して暮らせるように支援を行います。